

看護実践・キャリア 支援センター通信

2022年
3月

看護基礎教育

看護学生へのキャリアデザインプログラム

Vol.23

12月2日、看護学科の4年生を対象に、看護学生へのキャリアデザインプログラムとしてキャリアコンサルタントの西山敦子さんによる「看護師として“価値ある自分をつくる”～誰に、何をして、どんな風に喜ばれたいのか～」という講演を行いました。

誰かのため何かをする…そのことによって自分の中にやりがい生まれることがあります。けれども、仕事である限り一定の成果は求められます。



価値を提供するとは…

先生はいろいろなケースで自分ならどのように対応するのか学生に問いかけていました。看護師が様々な課題を乗り越えて、患者やその家族だけでなく自分も前向きになっていく物語も紹介されました。

これから社会人になっていく学生たちに「価値ある自分」をつくるために何が必要か考える時間となったようです。



西山 敦子先生

看護実践事業

信頼関係構築のための基礎知識・技術



風間 眞理先生

本学 医学部看護学科精神看護学 教授 風間 眞理先生を講師に迎え、信頼関係構築に関連する理論やコミュニケーションについて学習するための講義・演習を行いました。2021年9～12月の隔週木曜日の全6回（1回90分）のコースに11名が受講しました。他者とのコミュニケーションにおいては、まず自分を知ることが大切です。研修では自分の性格・思考パターンを分析したり、自分を取り巻く人たちとの関係を思い出し、自分史を作ったりと自分自身と向き合うことで、その視点が他者との関係の取り方にも通じることに気付きました。受講者から「有効な人とのコミュニケーションの取り方や、改めて今の自分があるのは、家族との幼い頃からの関係性が影響しているのを理解できました」という感想が聞かれました。人との信頼関係を築くために、改めて自分自身に向き合うことが求められる研修でした。



家族の状況を言葉で正しく伝えるゲームも



看護実践教育 子育て支援サロン(リモート交流会)

11月17日(水)に、復職を考えている育休中の看護職を対象に Teams によるリモートでの子育て支援サロンを開催しました。

人事課の説明と、育休を取らずに産休明けで復帰した人、部休を利用しながら復帰した人…異なる働き方をしている先輩の方の話を聞くことで、復帰してから勤務を具体的に想像できたようです。

リモート開催のため、遠方からも気軽に参加できるというメリットもあることが分かり、今後の開催方法についても再検討していきたいと思います。



子育てしながらの働き方を伝える

看護実践教育 実習指導者・看護学科教員合同研修



オンライン上でグループワーク

1月7日(金)に、今年度の上級臨床指導者育成プログラム受講者の企画・運営で実習指導者・看護学科教員合同研修を Teams で開催し、45名が参加しました。

Z世代に対応した教育ということで、オンライン上で動画視聴やグループワーク等を行いました。実習指導者と教員がそれぞれの立場や経験から語り合うこと

ができ、参加者それぞれが「参加している」と実感できる内容で、最後まで飽きさせない新しい時代の研修の姿を感じることができました。



教材としてオリジナル動画も



地域貢献事業 家族看護〈入門編〉

当初1月29日に開催を予定していた家族看護〈入門編〉研修ですが、新型コロナウイルス感染拡大のため、YouTubeでの配信に変更しました。2月10日に「前編」、3月23日に「後編」と、それぞれ1時間程度の動画を上げ、受講希望者40名に案内しました。

「家族システム理論」から家族を見ていくこの講座は今まで自分なりに捉えていた「家族」というものが意外に一面的であることに気付かされる内容で、その中からお互いに影響し依存する家族に関わり、家族を捉える新たな視点が見つけれられると思います。



来年度にさらに Step up した研修を開催



看護学科学生へのキャリアデザインプログラム Teams によるリモート交流会

3月1日（水）、就職活動前の本学の看護学科3年生対象に、若手看護師との交流会を行いました。昨年同様新型コロナウイルスの感染予防対策として今年度は Teams を用いたリモートでの開催となり、17名の参加がありました。新人の教育体制などについて説明を聞いた後、第1希望とそれ以外の2つの部署の看護師と40分程度の交流を行いました。最初は学生たちも緊張した様子でしたが、だんだんと打ち解けた様子が見られ、気になる点を質問していました。「年の近い看護師さんに実習中には聞けなかったたくさんのお話を聞いてよかったです。」という学生からの感想が聞かれました。この交流会をきっかけに1人でも多くの学生に就職先として奈良医大附属病院に関心を持ってもらえればと思います。



部署から10名の若手看護師が参加

3月1日（水）、就職活動前の本学の看護学科3年生対象に、若手看護師との交流会を行いました。昨年同様新型コロナウイルスの感染予防対策として今年度は Teams を用いたリモートでの開催となり、17名の参加がありました。新人の教育体制などについて説明を聞いた後、第1希望とそれ以外の2つの部署の看護師と40分程度の交流を行いました。最初は学生たちも緊張した様子でしたが、だんだんと打ち解けた様子が見られ、気になる点を質問していました。「年の近い看護師さんに実習中には聞けなかったたくさんのお話を聞いてよかったです。」という学生からの感想が聞かれました。この交流会をきっかけに1人でも多くの学生に就職先として奈良医大附属病院に関心を持ってもらえればと思います。

特定行為研修成果発表会



3月2日（木）、今年度の特定行為研修の研修生9名による成果発表会が Teams を利用したオンライン形式で行われ、院内外30名を超える方にご参加頂きました。

研修で得た知識をいかに自分のものにしていったか、実習での問題点をどう克服していったかなど、それぞれが学んだ内容を5分程度で発表しましたが、その後の質疑応答は非常に活発なもので、研修への関心の高さがうかがえました。



現場での実習を重ね、身につけたものを自らの言葉で報告されました



吉川病院長

病院長には Web で参加いただきました。特定行為研修研修生の活躍への期待、また新設のPICCについて語られました。

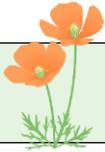


看護基礎教育・看護実践教育 上級指導者育成プログラム受講者・特定行為研修受講者伝達講習

3月4日～31日、院内看護職者を対象に上級臨床指導者育成プログラム受講者と院内の特定行為研修受講者の伝達講習を学内 Sharepoint にアップロードする形で実施しました。1年の研修で得た学びを1人約5分の動画にまとめたものが、パソコンやスマートフォンから視聴できます。視聴後のアンケートより、特定行為研修について「看護の視点を生かした看護師の役割拡大について述べられていて勉強になりました。」という意見が寄せられています。視聴した方がこの研修に興味をもっていただければと思います。



Sharepoint を利用した初の伝達講習



特定行為研修 閉講式



閉講式参加の修了生と研修でお世話になった方々

められる機会が増えています。修了生の今後の活躍に期待します。

3月17日（木）、看護師特定行為研修の閉講式が行われました。

今年度は急性期コース3名、慢性期・在宅コース5名が研修を修了しました。

病院長からは修了生1人1人への修了証の授与と挨拶を、川口教授からは訓示をいただきました。

臨床では、年々特定行為の実施を求

【急性期コース修了生より】

（急性期コース6期生 増井 和美）

長年、急性期看護を行う中で自己のアセスメントした内容や実施した看護は適切だったのかと悩むことが多く、より高度かつ専門的な知識および技能の向上を図りたいと考え、特定行為研修を受講しました。

区分別科目の演習では少人数制での受講となり、自己のアセスメントした内容を医師は最後まで聞き、個々に応じたアドバイスを下され、自信につなげることができました。臨床実習では目の前の症状や値に対し、多方面から考えることかつ、一歩先を見据えたアセスメントが必要であると学びました。また常にベッドサイドにいるのは看護師であり、患者がいつもと違うと感じた時、なぜその症状が出現しているのか、一つひとつアセスメントし、予測し、対応していきたいと思います。今回の研修の学びを活かすことで、患者が求めている看護の提供、あなたが担当でよかったと思っただけの看護師を目指し、自己研鑽を行っていきたくです。

【慢性期・在宅コース修了生より】

（慢性期・在宅コース4期生 中井 愛）

研修を通して、eラーニングでは看護の視点に加えて医師の視点も学ぶことができ、アセスメント能力の向上につながったと感じます。実習ではたくさんの施設に行かせていただき、他施設ではどのように特定看護師が活動しているのか学び、手順書作成や、システム作りなど研修終了後の自施設での取り組みについてもイメージすることができました。研修や実習を進めていく中で病棟スタッフから褥瘡の処置など相談されることもあり、研修で学んだことが活かしていると実感する場面もありました。適切なタイミングで適切な処置を行えることは重症化予防や治療促進につながり、QOLの向上につながると考えます。

これからも知識技術を更新しながら、チーム医療の一員として医療や看護の質の向上に貢献していきたいと思います。また、特定行為を行うだけでなく、研修で学んだ解剖生理、病態推論と、看護の視点で患者をより深く理解し、患者や家族に寄り添った丁寧で温かみのある看護が提供できるよう関わっていきたくと思います。

コロナ渦の中、様々な工夫をして研修を継続し、関わってくださったすべての方に感謝します。ありがとうございました。

今後のセンター事業

☆【地域貢献事業】〈スチームケア研修〉スチームケアのキホン“スチーム造設後から退院指導まで”がわかる

日時:5月14日(土) 9:30~15:30(予定)

☆【地域貢献事業】〈患者ケア研修〉忠犬ハチ公は、なぜ待ち続けて、死んだのか

日時:7月9日(土) 13:00~16:00(予定)

